

平成 2 0 年度県政モニター
第 3 回テーマ「活力があり、雇用を創出する商工業」
(モニター調査結果)

平成 2 1 年 3 月

熊本県商工観光労働部

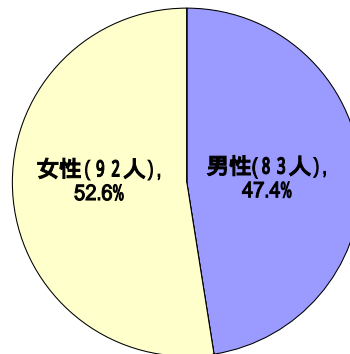
(平成 2 0 年 1 2 月 2 4 日～平成 2 1 年 1 月 1 3 日に調査実施)

< モニターの皆様のプロフィールは次のとおりでした >

1 性別

男 【 83人】

女 【 92人】



2 年齢

10歳代【 0人】

20歳代【 8人】

30歳代【 25人】

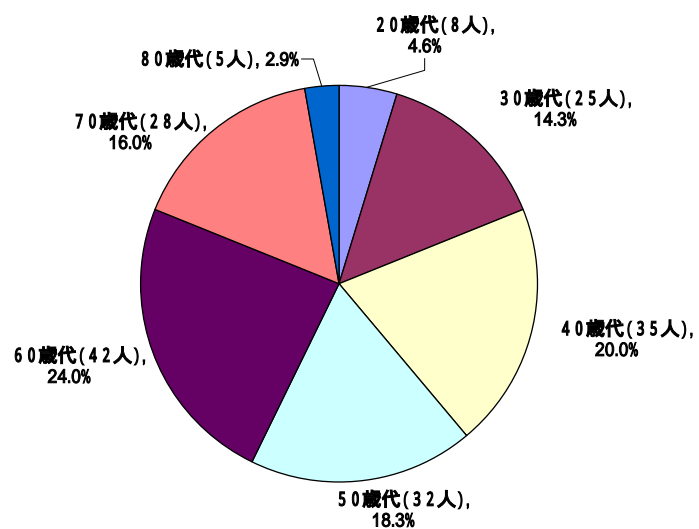
40歳代【 35人】

50歳代【 32人】

60歳代【 42人】

70歳代【 28人】

80歳以上【 5人】

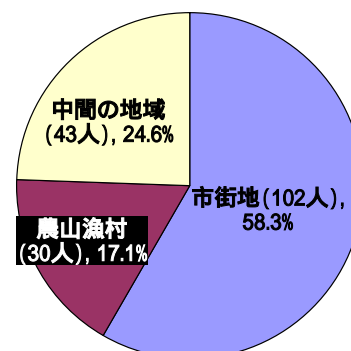


3 お住まいの環境

どちらかというとし街地【 102人】

どちらかというと農山漁村【 30人】

と 中間の地域【 43人】



4 お住まいの行政管内

熊本市【75人】

宇城【15人】

玉名【14人】

鹿本【10人】

菊池【20人】

阿蘇【5人】

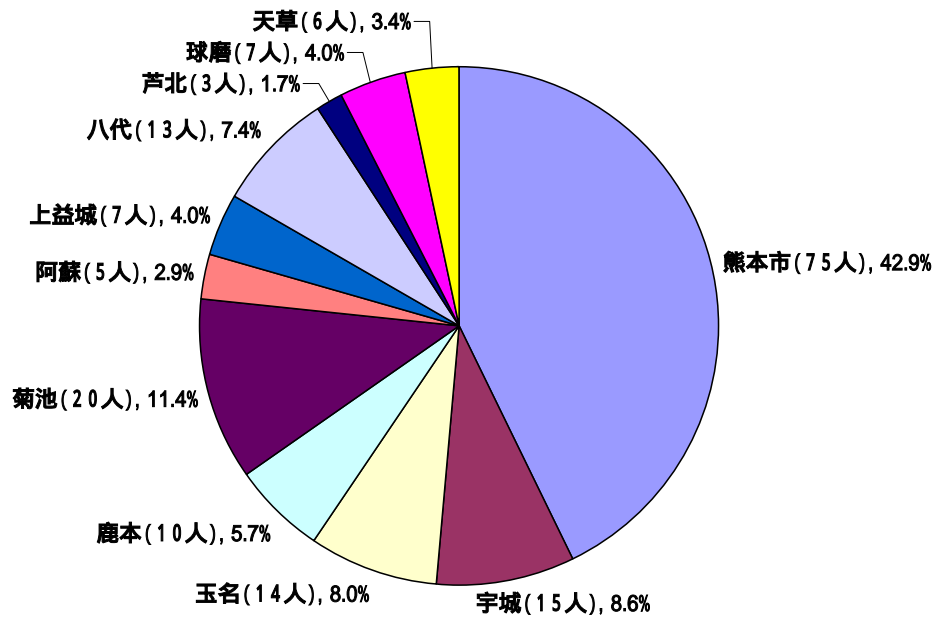
上益城【7人】

八代【13人】

芦北【3人】

球磨【7人】

天草【6人】



【経済・雇用情勢について】

景気低迷と厳しい雇用情勢が続くなか、仕事や生活の中で厳しさを実感していると回答した人が44人、身近なものとして感じている人が49人、回答者の53.1%が直接的に影響を感じているということであった。

また、県として行うべき重要な対策として、「失業者の就業支援・生活支援」という回答が108人と最も多く、「中小企業の資金繰り支援」や「新事業展開・創業等の支援」と回答した人が163人で、中小企業への支援策を望む声が多かった。

(問1)世界的な景気後退や円高の進行などから、企業倒産が増加したり、雇用の調整が進むなど、経済・雇用情勢は大変厳しくなっていると思いますが、あなたの仕事や生活の中でもそうした状況を感じていますか。(一つだけ選んでください。)

自分自身や勤務先が厳しい状況にあり、現実を実感している

【44人】

知人が厳しい状況にあると聞いており、身近な問題として感じている

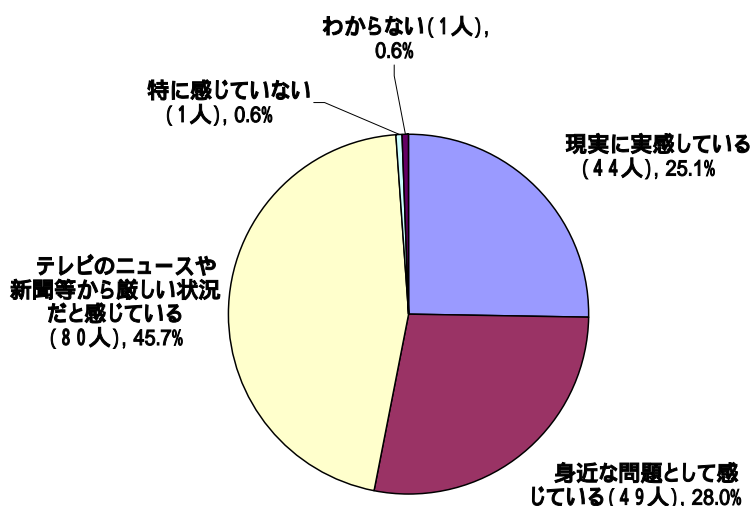
【49人】

身近な問題にはなっていないが、テレビのニュースや新聞などから厳しい状況だと感じている【80人】

特に感じていない【1人】

わからない【1人】

厳しい経済・雇用情勢に対する実感度



(問2) 県としてはどのような対策が重要だと思いますか。(複数回答可)

中小企業の資金繰り支援【96人】

中小企業の新事業展開や創業等の支援【67人】

公共事業などの各種事業を増やし景気刺激や雇用創出【50人】

企業誘致による取引拡大や雇用創出【62人】

失業者の就業支援や生活支援【108人】

その他【11人】

農林漁業後継者づくり等による雇用創出。大きな投資より同じ投資でも多方面へきめ細かい投資を。

普段から優秀な人材育成。

食糧や医療等の無料配給サービスの導入、リサイクル事業の強化。

臨時雇用の創出やワークシェアリング。

公費の適正な執行とチェック体制。

大型店の出店規制、地元商店街の活性化及び一次産業の支援。

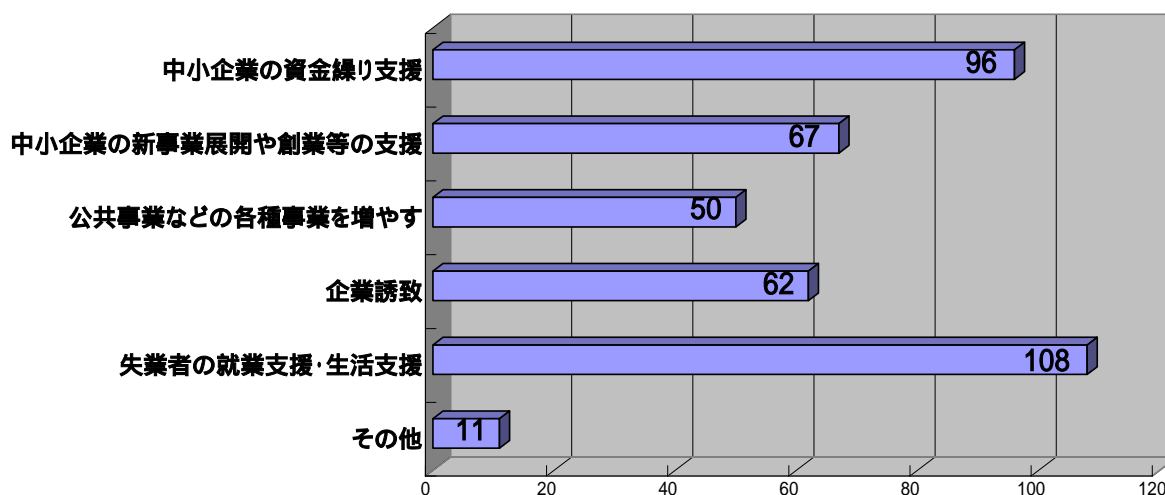
環境と歴史を大切にしたい政策に重点を置き、地方らしさを明確に出した方がよいのではないかと。大資本をあてにするより地域からの雇用創出がベスト。

農業の活性化。今こそ自給率を上げるべき。

県内中小零細企業が存続して事業が継続できるように支援する条例の制定。地産地消に基づいたシステムの確立。

厳しい経済・雇用情勢の中で

県としての施策は何が重要か？



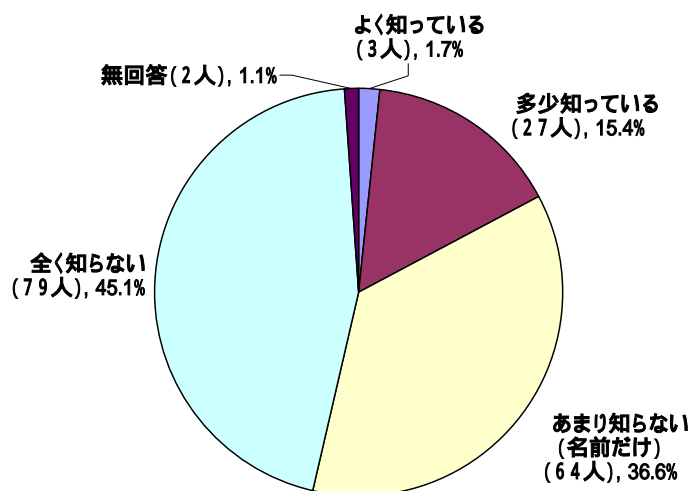
【熊本県中小企業振興基本条例について】

平成19年3月に制定した「熊本県中小企業振興基本条例」について、「全く知らない」と回答した人が45.1%を占めた。今後、更なる周知に努めていく必要がある。

(問3) 県では中小企業を振興するため、平成19年3月に「熊本県中小企業振興基本条例」を制定していますが、この条例をご存知ですか。(一つだけ選んでください)

- よく知っている【3人】 問4にお進み下さい
多少知っている【27人】 問4にお進み下さい
あまり知らない(名前を聞いたことがある程度)【64人】
全く知らない【79人】

熊本県中小企業振興基本条例についての認知度

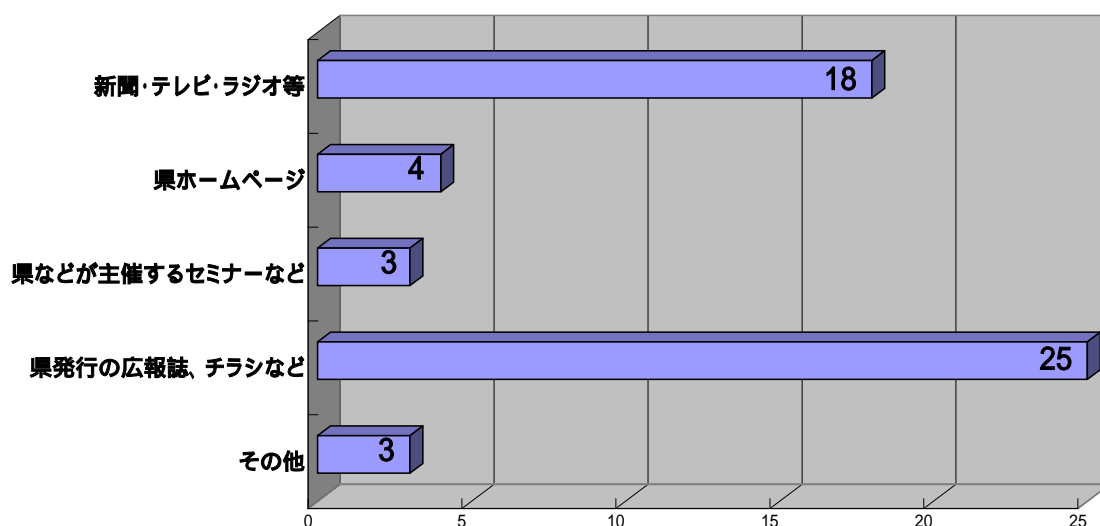


(問4) 「熊本県中小企業振興基本条例」をどのようにしてお知りになりましたか。
(複数回答可)

- 新聞・テレビ・ラジオ等を通して【18人】
県のホームページ【4人】
県などが主催するセミナー、フォーラム等で【3人】
県が発行する広報誌、チラシなど【25人】
その他【3人】

今回の資料で初めて知った等。

**どのようにして熊本県中小企業振興条例
について知りましたか？**



【中小企業支援について】

中小企業向けの支援策として最も重要なものとして、「資金調達支援」と「人材育成・人材確保・雇用支援」と回答した人が最も多かった。

また、地域の商工会や商工会議所には、「地域経済の活性化に向けたリーダーシップの発揮」を望む声が多く、次に「小規模・中小企業に対する経営相談・指導の充実」と続く。また、県内9ヵ所にある「地域力連携拠点」については、46.9%が「全く知らない」という回答であった。

県有施設である「熊本県産業技術センター」と「夢挑戦プラザ21」についても、全く知らないと回答した人が半数近くあり、今後、更なる周知に努めていく必要がある。

(問5) 中小企業が経営力や技術力を高めるために、重要と思われる支援はどれだと思いますか。(複数回答可)

資金調達支援(金融支援)【107人】

交通・通信・流通インフラ(基盤)の整備【35人】

人材育成・人材確保・雇用支援【117人】

顧客・販路・取引先確保支援【41人】

- 製品やサービスの技術開発支援やそのための研究機関の充実【45人】
- 公的相談・支援体制（事業）の充実【47人】
- 事務所（工場）スペースや用地の提供と斡旋【25人】
- 原材料・物品の調達支援【16人】
- 情報発信・情報収集支援【65人】
- 産・学・民・行政等の協力・連携支援【71人】
- 県外から（取り引き先としての）企業誘致【25人】
- その他【7人】

地元の企業を大事にし、盛り上げるといふ住民の意識向上が何より大事。

国際化の充実、セーフティネットの充実。

無料で行う経営相談。

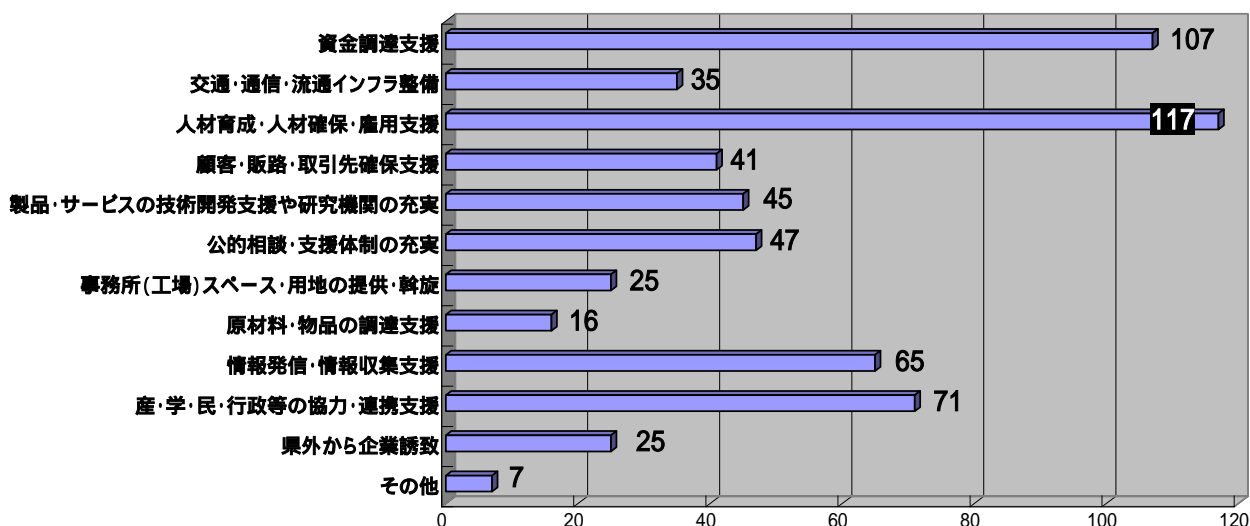
企業から県に提出される諸処の書類の手続きをもっと効率化する。

まず支援ありきでは甘やかしになる。

公的機関による支援は必要だが、前提条件として企業の自助努力がないと
持続性はない。

わからない。

中小企業の経営力・技術力アップには
どんな支援が重要か？



(問6) 起業化(初めて事業を起こすこと)や新事業進出(企業が新しい事業分野に取り組むこと)を促進するために、重要と思われる支援はどれだと思いますか。
(複数回答可)

資金調達支援【123人】

交通・通信・流通インフラの整備【29人】

人材育成・人材確保・雇用支援【81人】

顧客・販路・取引先確保支援【61人】

技術開発支援・研究機関の充実【62人】

公的相談・支援の体制・事業の充実【60人】

事務所(工場)スペース・用地の提供・斡旋【56人】

原材料・物品調達支援【21人】

情報発信・情報収集支援【73人】

産・学・官・民等の協力・連携支援【64人】

その他【9人】

起業化に成功した人の講演会(苦労話含む)やセミナー等の開催により、起業化意識を広げる(県内の人材を活用するのもいいが、東京・大阪・地方都市の人を呼ぶのも良い)、ケーススタディの研究会(失敗ケース等)開催。国際化。

起業化や新事業を行うに当たり、諸処の法律的束縛を可能な限りなくすこと。加えて手続きのスピードアップ。

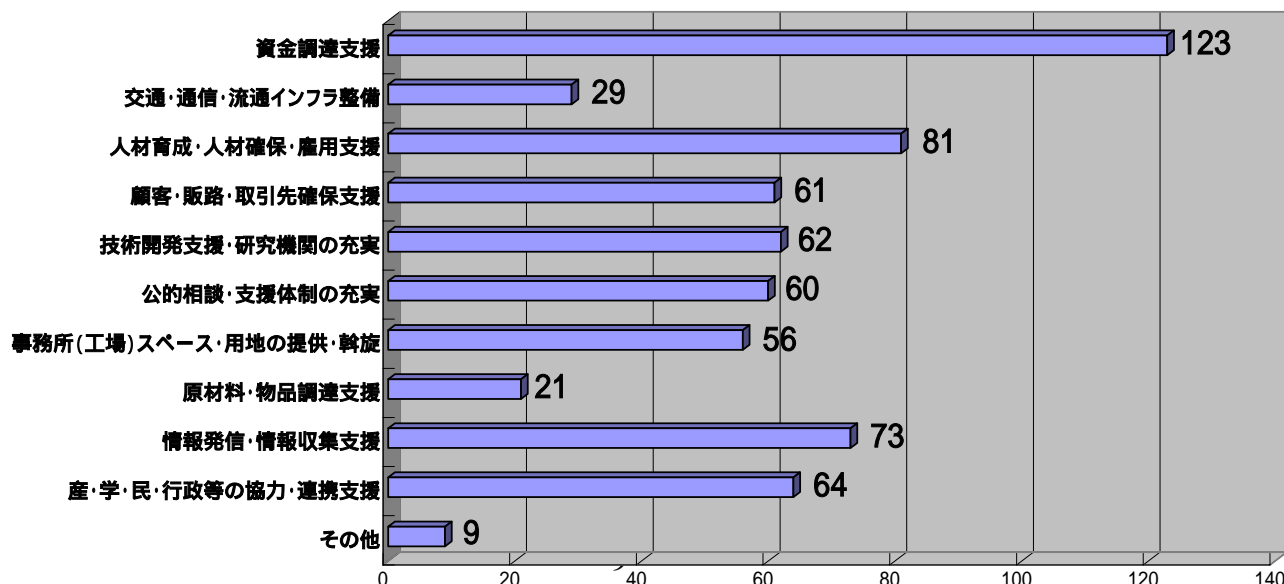
そもそも起業化促進よりも、県民の雇用安定を考えるべきではないか。

あまりわからない・わからない(2名)。

起業には自立、自衛、自己責任を。

県の工業試験場(現産業技術センター)やその他試験研究機関の利用や相談が受けられる体制を整えて欲しい。

起業化や新事業創出にはどのような支援が重要か？



(問7) 各地域の商工会や商工会議所は、小規模・中小企業の経営指導や、地域振興などに取り組んでいますが、あなたが商工会や商工会議所に期待することは何ですか。(複数回答可)

小規模・中小企業に対する経営相談・指導の充実【104人】

地域経済の活性化に向けた様々な取組みのリーダーシップ発揮【114人】

祭・イベントの開催など地域づくり活動【52人】

その他【13人】

企業間取引情報の提供。優良企業の表彰制度による経営者の社会的認知度の向上

情報開示、人事交流、国際化

商工業者への的確な情報発信(2名)。

商工業者の情報収集・情報発信支援。

消費者と生産者をつなぐ取組みにおけるリーダーシップの発揮

地域の小規模・中小企業へ直接訪問して実態把握をし、指導。

商工会に入っていたが何のメリットもなかった。会費集めのイメージしかない。

保守的で融通が利かず、進取的でないところがあって、個人的にはもはや必要性を感じていない。

残念だが不要(いづれなくすべき)。

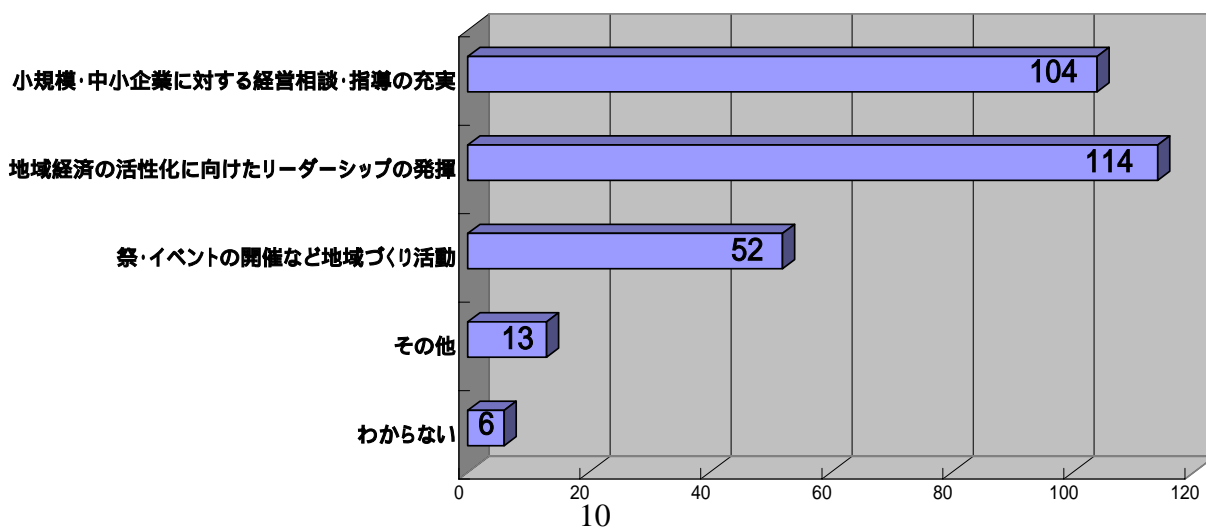
地域振興のやり方が不明。

従来のやり方ではこの厳しい状況に太刀打ちできない。地域のニーズに合った熊本型の特色ある企業の事業開発・発案を提示できるようお願いしたい。

講習会の質を上げる。

わからない【6人】

地域の商工会や商工会議所に期待することは何か？



(問 8) 県内 9 カ所の商工団体や J A では、国から「地域力連携拠点」に指定され、中小企業診断士などのコーディネーターが、農商工連携による商品開発や販路開拓など、中小企業の経営課題を一貫して支援していますが、ご存じですか。(一つだけ選んでください。)

県内の 9 つの地域力連携拠点：

(商工会議所・商工会) 熊本県商工会連合会、山鹿市商工会、熊本商工会議所、八代商工会議所、荒尾商工会議所、熊本県中小企業団体中央会
(J A) 熊本市農業協同組合、あしきた農業協同組合、あまくさ農業協同組合

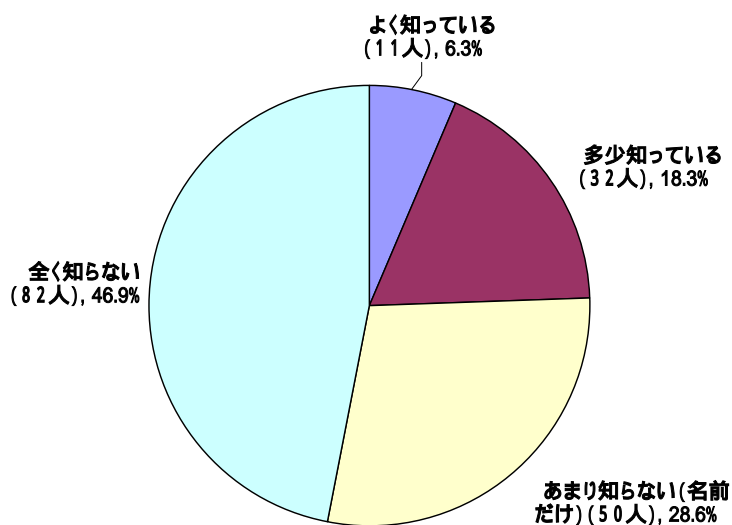
よく知っている【 1 1 人】

多少知っている【 3 2 人】

あまり知らない(名前を聞いたことがある程度)【 5 0 人】

全く知らない【 8 2 人】

県内 9 カ所の地域力連携拠点についての認知度



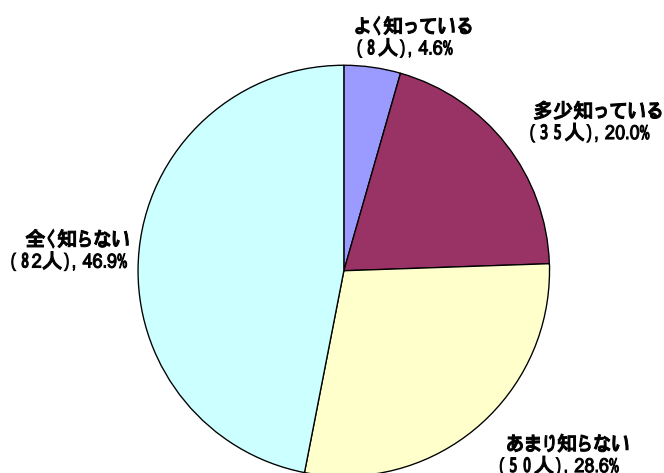
(問 9) 「県産業技術センター<旧県工業技術センター>(熊本市東町)」では、県内企業の技術相談・指導、設備の開放、試験分析、地域の技術ニーズに応じた研究開発、計量検定等を実施していますが、ご存知ですか。(一つだけ選んでください。)

よく知っている【 8 人】

多少知っている【 3 5 人】

あまり知らない（名前を聞いたことがある程度）【50人】
 全く知らない【82人】

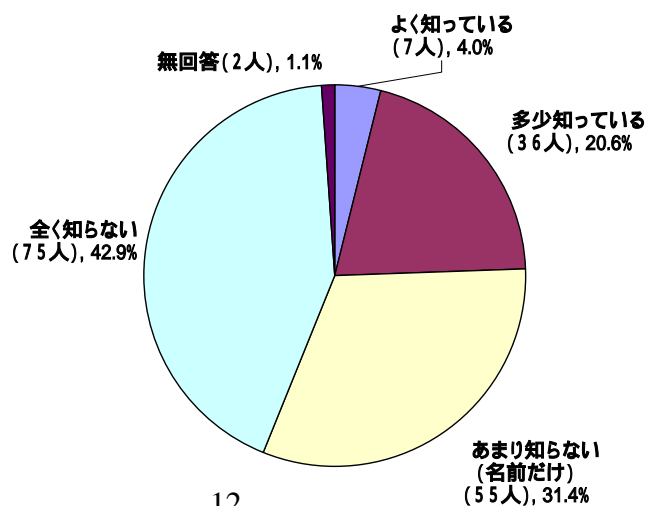
県産業技術センターについての認知度



(問10)県では、くまもとテクノ産業財団に委託して、インキュベーション施設「夢挑戦プラザ21」（益城町テクノリサーチパーク内）を設置し、創業予定者や創業間もない企業に事業スペースを提供するとともに、専任のスタッフが経営相談や技術相談等の支援を行っていますが、ご存じですか。（一つだけ選んでください。）

よく知っている【7人】
 多少知っている【36人】
 あまり知らない（名前を聞いたことがある程度）【55人】
 全く知らない【75人】
 無回答【2人】

夢挑戦プラザ21についての認知度



【商業の活性化について】

自宅から徒歩又は車・バイク・自転車等で気軽に行ける範囲内に商店街があるか、たずねたところ、68%の回答者が気軽に行ける範囲内に商店街があるということであった。その中で57.1%の回答者がよく買い物に行くが、39.5%の回答者があまり行かないということであった。理由としては「生鮮品など買いたいものが揃わない」、「値段が高い」という回答が多かった。

また、「商店街が近くにない」・商店街が近くにあるが「あまり行かない」と回答した103人のうち、「大型店（スーパー、ショッピングセンターなど）」へ日常的に買い物に行くと回答した人が82人となり、商店街に行く人と大型店へ行く人とが二分化している傾向が窺われる。

(問11) ご自宅の近くに商店街がありますか。

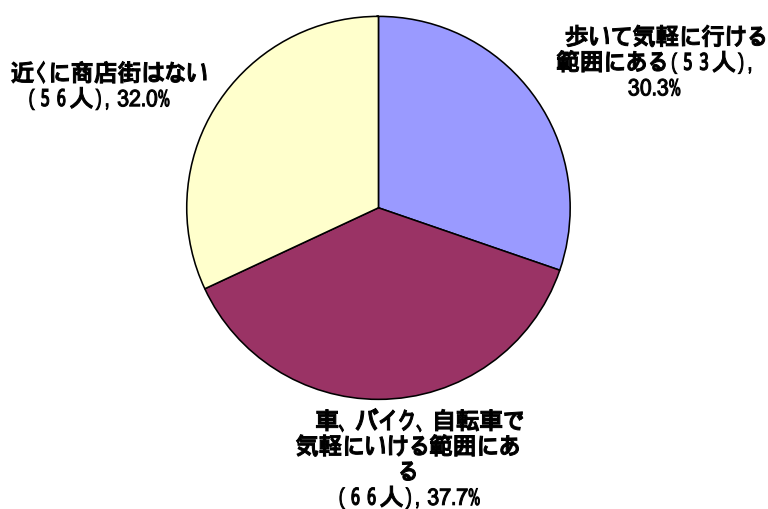
商店街とは、ショッピングモール(センター)のような大きな商業施設ではなく、地域にある商店街を指します。

歩いて気軽に行ける範囲にある【53人】 問12へ

車、バイク、自転車で気軽に行ける範囲にある【66人】 問12へ

近くに商店街はない【56】 問13へ

近くに商店街がありますか？



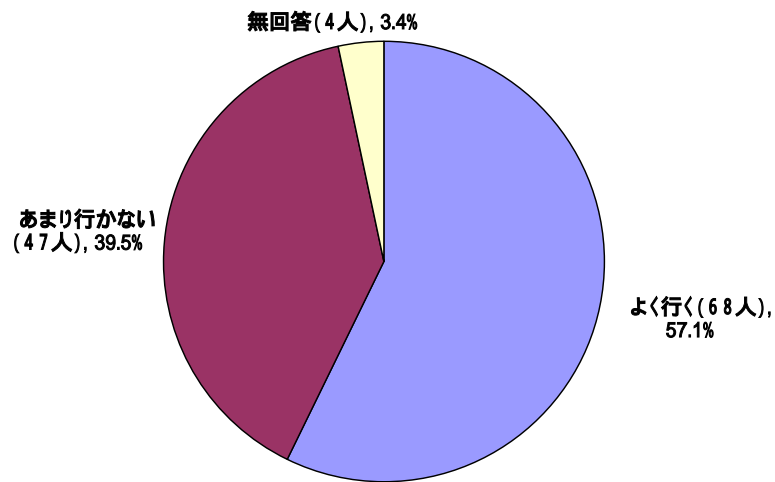
(問12) 問11で「又は」とお答えになった方におたずねします。近くの商店街に日常の買い物に行きますか。

よく行く【68人】

あまり行かない【47人】 問13・問14へ

無回答【4人】

近くの商店街に日常的に買い物に行きますか？



(問13) 問12で「あまり行かない」とお答えになった方におたずねします。その理由は何ですか。(複数回答可)

生鮮品など買いたいものが揃わないから【22人】

値段が高いから【18人】

閉店時間が早いから【7人】

駐車場・駐輪場がないから【14人】

その他【13人】

自分で買い物をすることがあまりないから。買い物は家族に頼むことが多いから

近くのスーパーで事足りるため。近くにスーパーマーケットがあるため。

近くに安くて新鮮な商品が揃うスーパーがあるため

近くに大型ショッピングセンターがあるため

購買意欲がわくような魅力がない

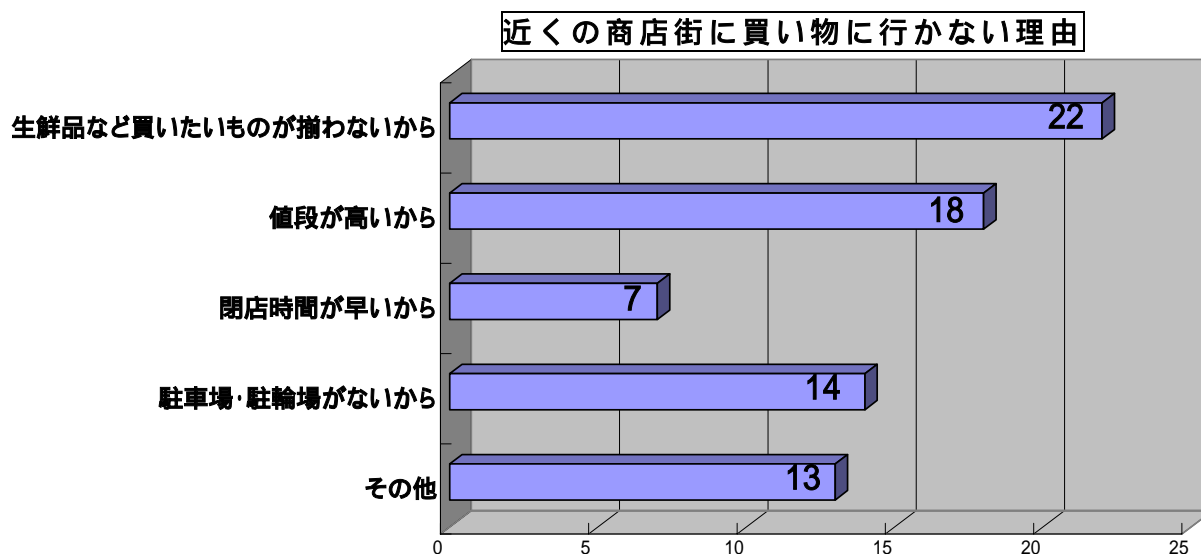
生協を利用している

何も買わずに店を出にくいから

鮮度があまりよくない

シャッター通りとなり、日常品の店が少ないから。

大型スーパーに勤務しているため商店街にはあまり行かない。



(問14) 問11で「近くに商店街はない」又は問12で「あまり行かない」とお答えになった方におたずねします。日常の主な買い物の場所はどこですか。(1つ選んでください。)

大型店(スーパー、ショッピングセンターなど)【82人】

産地直送販売所(農協や道の駅など)【5人】

遠くの商店街【2人】

近くのコンビニエンスストア【6人】

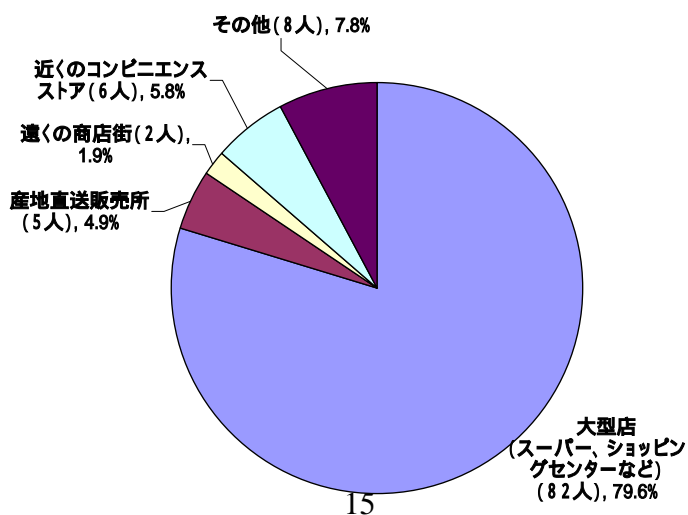
その他【8人】

ドラッグストア

生協(5人)、生協から配達してもらっている(2人)

デパート

**商店街以外で日常的にどこに
買い物に行きますか？**



【企業誘致について】

県内へ誘致した企業については、「ほとんど知っている」・「概ね半分以上は知っている」・「概ね数社から数十社（半分以下）は知っている」という回答が74.2%あり、認知度が比較的高いことが窺われる。

また、誘致した企業に何を期待するのかたずねたところ、「雇用の場の拡大」という回答が最も多く、雇用創出の役割が大きく期待されている。なお、就職先として選定する場合、最も決め手となるのは「賃金」で、「企業の立地場所」・「事業内容」と続く。

(問15) 県内には、統計をとり始めた昭和40年以降、100を超える企業が進出しています。あなたは、これらの企業をご存知ですか。(一つだけ選んでください。)

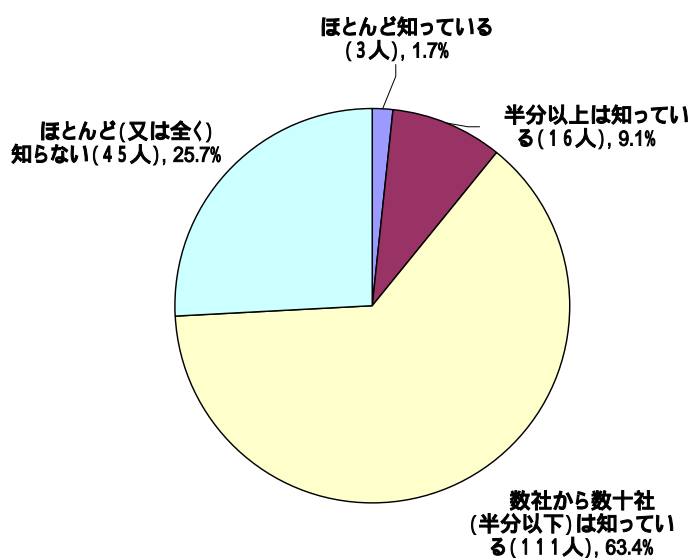
ほとんど知っている。【3人】

概ね半分以上は知っている。【16人】

概ね数社から数十社（半分以下）は知っている。【111人】

ほとんど（又は全く）知らない。【45人】

誘致企業の認知度



(参考：誘致企業については、別添両面資料のシリコンアイランド九州及び熊本県内（輸送機器関連）部品メーカー・自動車関連半導体一覧をご覧いただきました。)

(問16) 県内に工場等を立地した企業に対して、あなたが期待することは何ですか。

(複数回答可)

雇用の場の拡大【159人】

製造品出荷額の増加【28人】

地場企業との取引【92人】

納税【78人】

社会貢献(環境保全活動、慈善事業、地域住民との交流等)【79人】

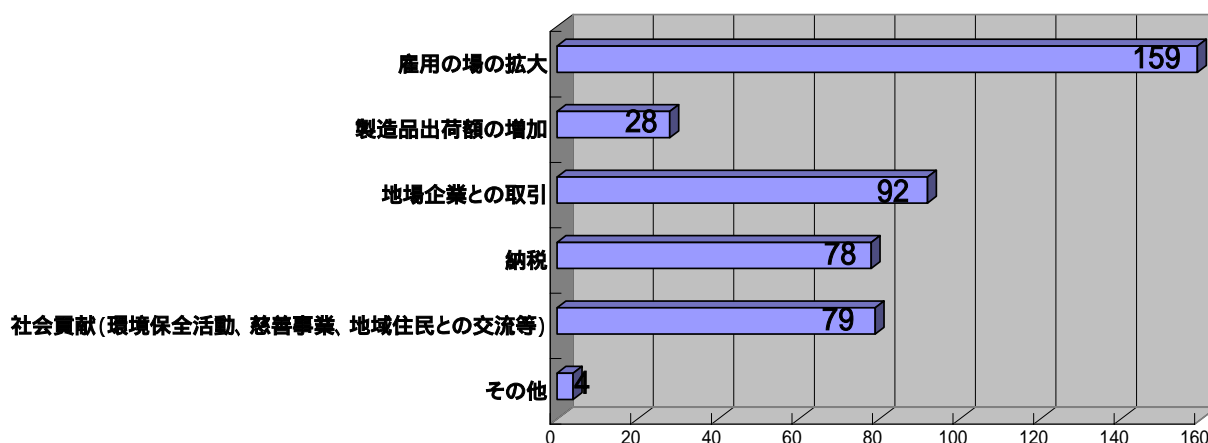
その他【4人】

多様な職種、業界の広がりによる就労機会選択肢の増加、立地企業人材の他
地域との交流(出張含む)による地域活性化、就労者増大による人口増。

できるだけ派遣社員などの雇用はしないでほしい

地域人口の増加

誘致企業に何を期待しますか？



(問17) 県内に工場等を立地した企業を就職先として選定する際に、何が決め手になるとお考えですか。(複数回答可)

賃金【135人】

労働時間【70人】

福利厚生【79人】

事業内容【92人】

企業の立地場所(通勤手段)【94人】

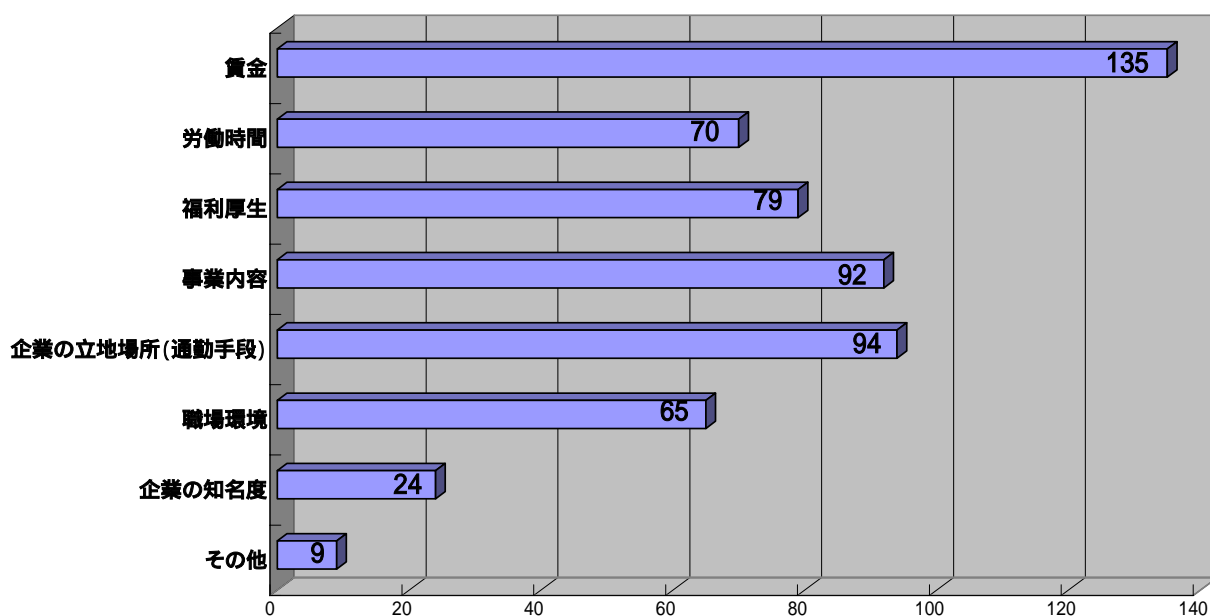
職場環境【65人】

企業の知名度【24人】

その他【9人】

熊本が単なる「ものづくり」のみの拠点ということではなく、その企業が熊本を拠点に創造性、ネットワークの中心となりうるような企業
 経営者の独断で解雇しない企業としての組織
 トップの人格
 企業収益以外の利益を社会へどのくらい返還しているか(社会的貢献度)(2人)
 企業の安定性(終身雇用可能かどうか)、将来性(3人)
 倒産する可能性
 正規職員で採用するか否か

誘致企業を就職先として選定する場合、
 何が決め手になるか？



【雇用について】

重要な雇用施策としては、「若者が県外に出て行くことなく、充実して働く場の確保」と回答した人が最も多く、「高齢者も働くことができる働く場の確保」・「働く場を広げるための企業誘致、地場企業の経営・技術等支援」と続く。

また、自分若しくは子、孫、家族の方等が就職する場合、「県内企業に就職する（させたい）」という回答が60.6%を占め、地元志向が高いことが窺われる。理由としては「実家・地元から通えるから」とする回答が最も多かった。

なお、県外企業への就職をしたい（させたい）と回答した17.1%の回答者のうち、そのように回答した理由としては、「県内に希望する仕事（職種）の企業の求人がないから」が最も多く、「給料・休日など条件が満足できる企業が（県内に）ないから」という回答が続いて多かった。

最後に、県内の職業訓練機関である「県立熊本高等技術訓練校」、「県立技術短期大学校」及び「ポリテクセンター」について認知度をたずねたところ、いずれも「全く知らない」と回答した人が1/3近くあり、更なる周知に努めていく必要がある。

（問18）働きたい人が働くことができるようにするために、どのような施策が重要だと思いますか。（複数回答可）

働く場を広げるための企業誘致、地場企業の経営・技術等支援【94人】

就業支援や人材育成（求人開拓や職業訓練など）【77人】

仕事と生活が両立できるような労働環境・仕組みづくり【87人】

女性が出産・育児と仕事が両立できるような仕組みづくり（育児休業・フレックスタイムの制度、保育園等の整備）【90人】

年齢を問わず、高齢者も働くことができる働く場の確保【95人】

障がい者の働く場の確保や職業訓練・自立した生活ができるような支援・受け皿づくり【52人】

若者が県外に出て行くことなく、充実して働く場の確保【104人】

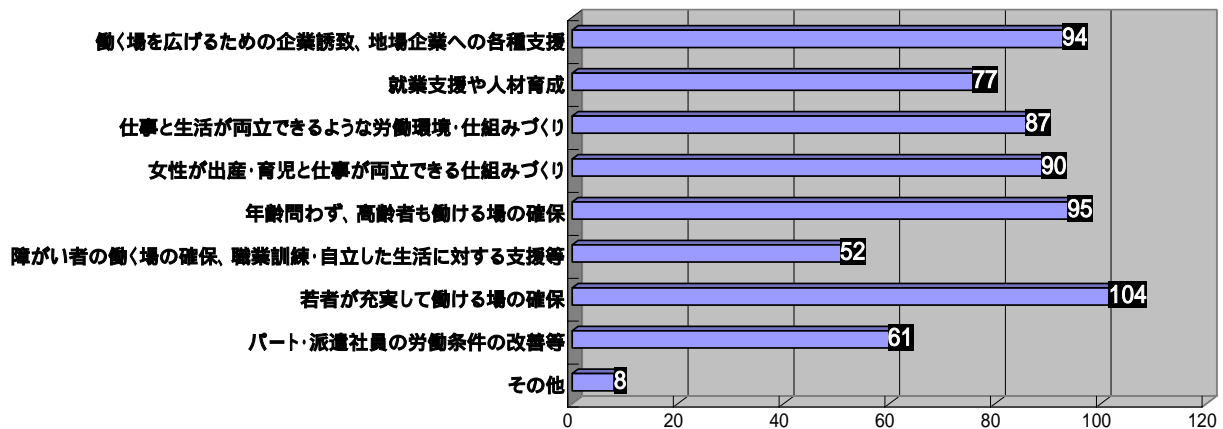
パート・派遣社員として継続して安心して働ける労働条件の改善等【61人】

その他【8人】

公共事業の地元発注徹底による地元企業の育成、農林漁業の活性化による安定職場の育成、事務部門・九州支社や支店、九州営業所の誘致

新しい会社（バイオ、自然エネルギー等）を産学官民の協力で作り、失業者やホームレス等を雇用する
 企業に対応した技術指導、企業の国内・アジア向け情報発信支援。
 天下り社員（公務員）をなくす、天下り全面禁止
 安全を第一にした労働環境
 雇用された後の保障が確実であるように願う。どんなことがあっても会社側の事情で解雇などが無いようにしてほしい。派遣制度も不安定なので辞めて欲しい。正規社員として取ってほしい。

働きたい人が働くことができるように
 するためには、どのような施策が重要か？



（問 19）若年層の県外への流出が大きな問題となっています。あなた、若しくはあなたの子、孫、家族の方等が就職するとした場合、県内と県外どちらに就職することを希望しますか。（一つだけ選んでください。）

（どちらかといえば）県内企業に就職したい（させたい）【106人】

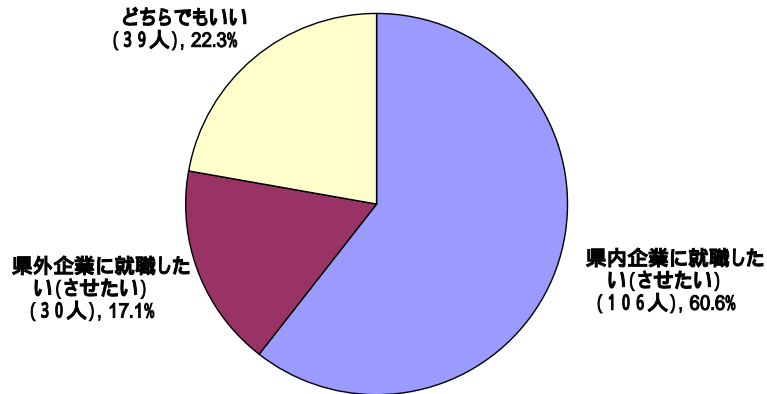
問 20 へ

（どちらかといえば）県外企業に就職したい（させたい）【30人】

問 21 へ

どちらでもいい【39人】

自分、子、孫、家族の方等が就職するとした場合、
 県内・県外どちらに就職しますか？



(問20)〔問19で と回答された方のみ〕

そのように思われた理由を3つまで選んでください。

県外より県内に就職したいから【47人】

県内に希望する仕事(職種)の企業があるから【17人】

実家・地元から通えるから【87人】

家族が勧めるから【11人】

県外の企業のことを知らないから【8人】

県内の生活環境がいいから【41人】

その他【9人】

過疎化を食い止めるため

老後のことなど不安があるので子どもは近くにいて欲しいから

将来、親の面倒を見るためには地元に残った方がいい

地域に若い人が残って欲しい。伝統や文化とか受け継いで欲しいし、残していきたいから

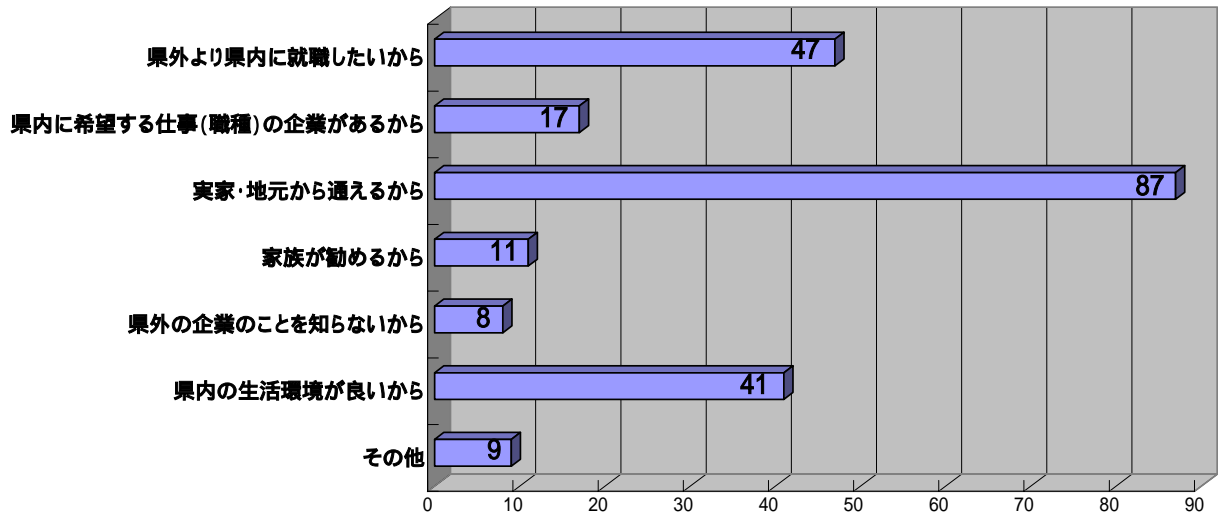
現在、子供は県外で所帯をもっている。県内で希望できるようなやりがいのある職場ができることを望む。

熊本で過ごしたいから

子育ての協力が可能

給料が満足できれば

県内企業に就職したい(させたい)と
 思った理由は？



(問21)〔問19で と回答された方のみ〕

そのように思われた理由を3つまで選んでください。

県内に求人がないから【7人】

県内に希望する仕事(職種)の企業の求人がないから【13人】

県内に従業員の多い大規模の企業等がないから【7人】

県内に将来性のある企業等がないから【9人】

県内に全国的に有名な企業等がないから【4人】

県内に給料、休日など条件の満足できる企業等がないから【12人】

県内の企業のことを知らないから【4人】

県外の大学等に進学したから【5人】

県外に一度は住んでみたいから【4人】

県外の生活環境がいいから【6人】

その他【7人】

県内に就職させたいのは、やまやまだが、多様な職種、特に研究開発、管理部門、本社機能を持つ企業が熊本には少ない。

未知を求めさせ、視野の大きな人間になってもらう。

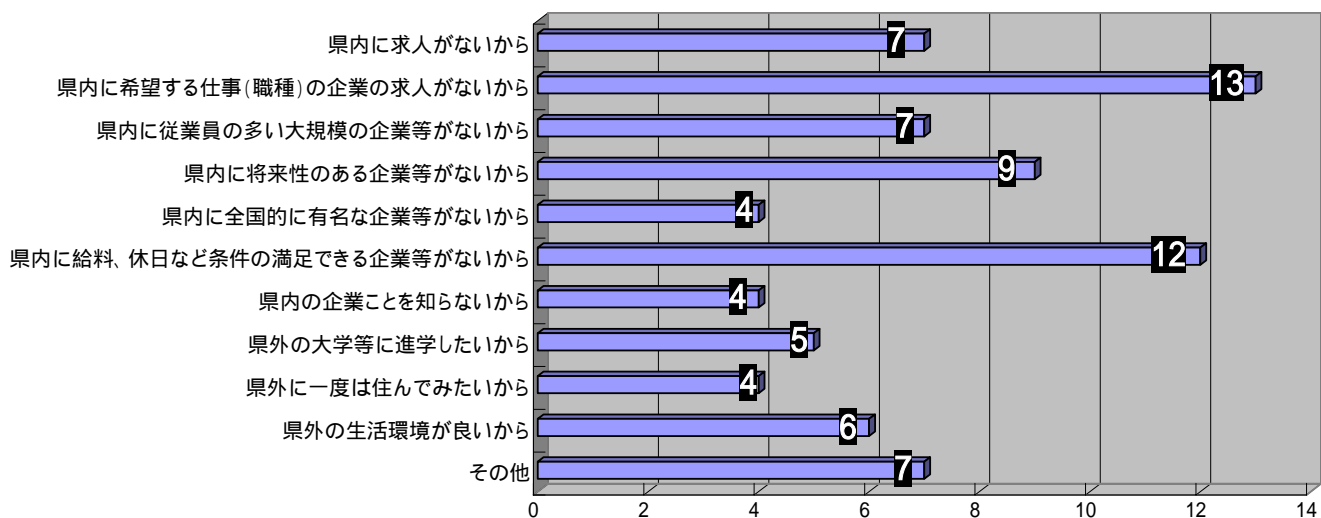
県外出身だから

県外だと人間関係(出身地)が全国的になるからおもしろい。(勉強になる)

本人自身の希望を尊重したい

保守的。給料が安い。男尊女卑の風潮が残っているから女性は働きにくい。優良企業では、支社は福岡までで、熊本には営業所。最近では営業マンも福岡からきている。

県外企業に就職したい(させたい)と思った理由は？



(問22)職業訓練を行うこと等を目的として設置されている次の施設をご存じですか。それぞれの項目について、番号を一つだけ選んでください。

1 県立熊本高等技術訓練校(熊本市幸田)

- ・ 新規学卒者を対象とした職業訓練(自動車車体整備科、電気配管システム科、総合建築科)
- ・ 離転職者、在職者、障がい者及び若年者を対象とした職業訓練

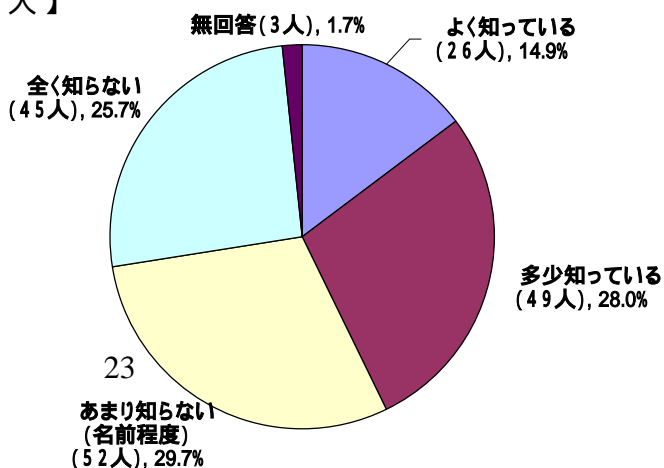
よく知っている【26人】

多少知っている【49人】

あまり知らない(名前を知っている程度)【52人】

全く知らない【45人】

無回答【3人】



2 県立技術短期大学校（菊陽町原水）

・新規学卒者を対象とした職業訓練（精密機械技術科、機械制御技術科、電子情報技術科、情報通信技術科、情報映像技術科）

・在職者を対象とした職業訓練

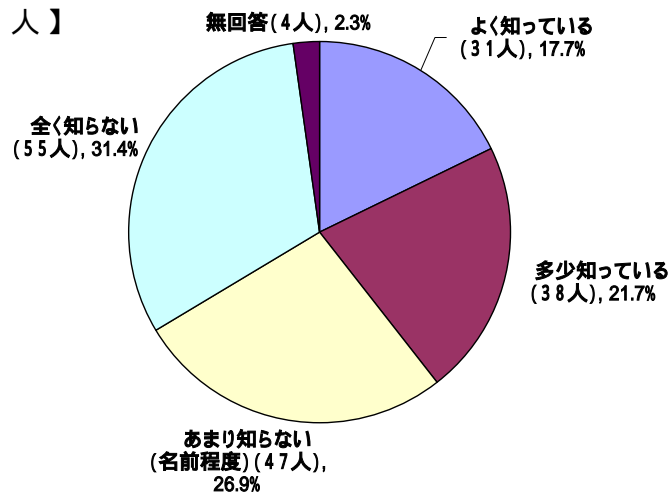
よく知っている【31人】

多少知っている【38人】

あまり知らない（名前を知っている程度）【47人】

全く知らない【55人】

無回答【4人】



3 (独)雇用・能力開発機構が運営する職業能力開発促進センター (通称「ポリテクセンター」: 合志市須屋、荒尾市荒尾)

・離転職者、在職者、若年者の職業訓練

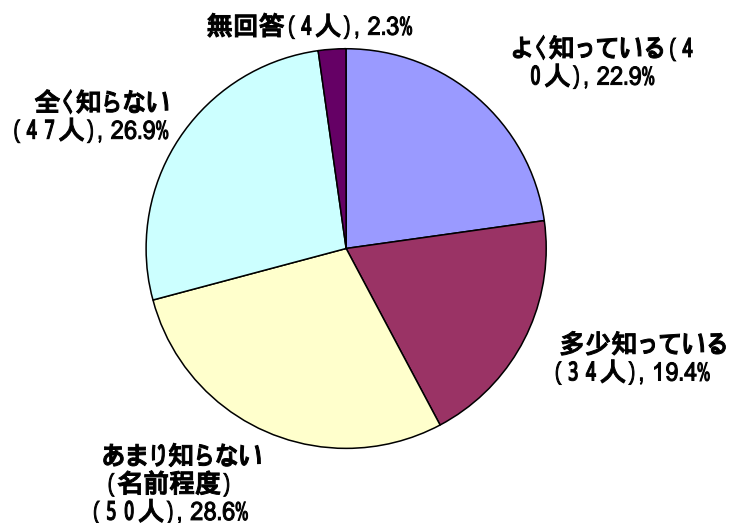
よく知っている【40人】

多少知っている【34人】

あまり知らない（名前を知っている程度）【50人】

全く知らない【47人】

無回答【4人】



4 しごと相談・支援センター（くまもと県民交流館パレア内：熊本市手取本町）

・雇用保険非受給者を対象とした技術講習会（パソコン、介護員等）

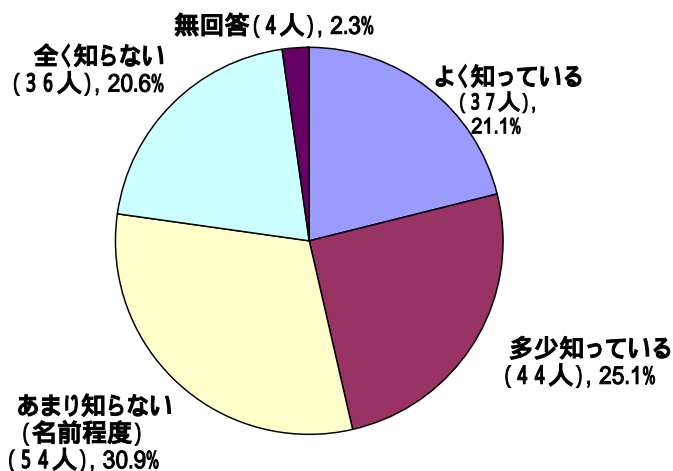
よく知っている【37人】

多少知っている【44人】

あまり知らない（名前を知っている程度）【54人】

全く知らない【36人】

無回答【4人】



【全体的事項について】

（問23）県の商工業振興施策や労働雇用施策について、具体的な施策の提言等があれば、自由に御記入ください。

多くのご意見をいただきまして有り難うございました。以下は、皆様のご意見を抜粋してご紹介させていただきます。

中小企業支援

県内企業（地場産業）の育成に力を入れて欲しい。県外からの進出企業は、不景気の場合、企業の縮小や移転、統合あるいは企業の廃止になる確率が高く、従業員の解雇も多くなる。

県産業技術センターがリニューアルされるに当たり、県出身の経営者で熊本県経済に大きく貢献された方々の偉業を顕彰するコーナーをつくり、次代を担う青少年に啓発する契機となれば...と提案しましたが如何でしょうか。

商工業振興のためには、県外から大きな企業を誘致するより、「地産地消」で地元の中小企業の製品・サービスを地元の人が消費して、お互いに潤うような政策を考えて欲しい。

設立目的がほぼ同様な地域の商工団体の合併を促すこと。商工会や商工会議所は、小規模・中小企業の経営指導や地域振興の促進など、多大の貢献をし、今後の活動が期待されています。しかし、特定の地域に同様な目的を持った商工会の団体が複数あり、非効率的であり、その併合が期待されています。それぞれの団体には、それぞれの主張があると思いますが、経営合理化のため、中小企業の真の育成発展のため、県が指導的立場をとって、併合できるように支援していただきたい。

商店街活性化等

地元商店街の活性化と大型店舗進出のバランス・共存を実効あるものにしないと商店街の崩壊にとどまらず、地域コミュニティの崩壊につながりかねない。少子化、核家族化と絡み、深刻な問題。商工業振興、労働雇用対策が進めば、子供を産んでも育ち、地元企業に勤め、地域、家族の支え、担い手となることができるのではないかと期待したい。

昔からある地域の商店街を大事にして欲しいと思う。ショッピングモールは若いうちには良いかもしれないが、歩いたり、自転車で行って、商店主と直接対面できるお店は大事だと思う。年老いてからは手近なところで便利に買い物ができる街が住みやすく、人に優しい街だと感じる。また、車を減らすエコの精神にもマッチしていると思う。今あるものや自然を大事にして活性化できる方法を望みます。

商店街はほとんど行かない。もっと若い私達が行きたくなるような工夫を考えて欲しい。やはり大型店が駐車場から全ての商品が揃っているのでもいいと思う。

道路拡張、整備が行われるのはいいが、その裏では農地が失われていること、環境が破壊されていることがある。大きな道路ができると必ずと言っていいほど、大型店の出店があり、地元商店街の低迷を招いている。道が大きくなっても購買力は変わらないので、結局どこかにしわ寄せがきたり、出店した大型店も収益が取れず、閉店ともなれば、農地が失われただけという結果にもなる。

熊本県第二の都市としての八代市では、これまで賑わっていたとされるアーケード街が、数年前にかなりの資金を投じて改装されたとはいえ、今日では、週を通して、人の往来はなくなっている。商店街の方々も努力していることはわかるが、一軒一軒とシャッターが閉まり、実際に買い物しようにも、求める商品がないため、車で大型店へといくことになってしまう。

中小企業の努力では、もうままならないところまで来ていると思われる。県・市・町を挙げて、地域振興事業の現場まで調査し、現状を知ることも必要かとも思われる。「町おこし、村おこし」で成功しているところも多い中、熊本県全体の活性化をもっと促進できるような企画をすることも大事かと思われる。NPO法人等の活発な動きもあることなので、いろいろなイベントにテコ入れ等しながら、一つ一つの小さなグループ、行事、催しに対して関心を寄せて、大きな一つの輪となっていくことが進歩、活性化の基本かもしれない。

企業誘致

大企業の企業誘致は雇用創出の効果も大きいですが、不況時におけるリスクもまた大きくなる。県内産業全体の安定及び雇用の安定の観点から見たとき、産業分野を限って、大企業を中心として誘致するより、中規模で多様な産業分野から、多業種を誘致した方が、経済の浮沈による影響が少なく、雇用への影響も少なく、県全体から見たとき、比較的安定した産業構造と雇用が維持されるものと思われる。

企業誘致に成功するためには、インフラ整備は最も重要。その中でも通信基盤は特に必要になってきていると思う。熊本に支店、支社を置いて、本社とのデータのやり取りをすることが必要不可欠となっているから。

益城町のテクノロジーパークは、もっと有効に活用しないともったいないと思う。よく整備され、季節感のあるとても美しい場所で、企業が立地する場所としては、とても素晴らしいと思う。企業をもっと誘致し、より活性化したオフィスパークにすると良いと思う。熊本らしい、自然が豊かな美しい場所なので、県外の企業の目に留まるのではないだろうか。

知事が企業誘致のために東京などで、熊本をPRするための会合をされているのを報道で見たが、このような取り組みを大いに進めて欲しいと思う。熊本県はもっとPR上手になるべきだ（県産品の売り込み、観光もしかり）。

県北を中心に、自動車産業や電子産業が集積しているが、県南にもそういう企業

を誘致して欲しい。用地や適地がないのであれば、他の産業や広い土地・水を必要としない産業を誘致して欲しい。

周りの若者が正社員でなく、派遣でしか雇ってもらえない人が多いので、県内に将来性のある企業に来てもらい、安定した仕事ができるようにしてもらいたい。

4工場ほど自動車部品工場が入ってきたが、会社がつぶれ、親会社が買い取り、新工場ができたり、結構話題の多い会社が多い。自分も3年間ほどパート職で働いていたが、雇用の安定はなかった。せっかく”雇用を創出する商工業”を目指すのであれば、働く人の雇用を守ってくれる会社を引っ張ってきて欲しいと思う。

大手企業は合志市や菊陽町などの郊外にあり、市内からは車を使わないと通えないところが多い。バス路線を増やすなどの対策を。

大手企業の誘致を積極的に実施してほしい。大手企業が誘致されると、雇用の確保や拡大ができる、地元企業との取引で地場企業の業績が上がる、大手企業・地場企業の納税額がふえる。雇用の拡大で消費が拡大し、お金が回りやすくなる。というように、正(良い)スパイラルがまわり成長できると思います。

県内進出企業に対して、地元雇用及び地場産業との取引枠の義務づけにより、進出企業と地元企業・商店街とが一体となり、成長をはかる。ハウステンボスが代表例...従業員の大半が地元、チューリップ等の花栽培は地元農家に委託。

雇用対策・人材育成

自分の息子が12月に派遣契約を打ち切られ、派遣社員や請負社員の待遇・人権について考えさせられた。若者への就業教育を通して、派遣社員や請負社員がどれだけ正社員と違い、労働内容、条件、福利厚生、待遇等の面で違うのかを理解していたら、正社員の道を真剣に探せたと思うが、派遣はお気軽にできて、同年代の人と給料はほとんど違いがないと信じ込んだ若者達が、今頃になって、その現実を思い知らされ、ひどいと思う。結局、社会のこと、将来のことを見据えることができている若者がうまくだまされ、企業に使い捨てカイロのごとく、必要なくなったからとポイされることには、行政や今までの社会風潮に責任を感じる。

地元で働きやすい環境を作って欲しい。都市部との労働条件、給料格差の是正に

努め、働きがいのある職場づくりにもっと力を入れ、魅力ある労働環境を作って欲しい。

天草は、非常に厳しい状況にあり、数年間ハローワークに通っても、常に同一企業の同職種が、数カ月単位で、求人が出たり出なかったりという状況。年齢制限はしないようにとのことだが、面接にいくと、引っかかる。もう一つネックになるのが学歴。もちろん専門職などの職種は、学歴も必須項目だと思うが、こんな職種でも学歴が必要なのかと思うようなものまで、時として見受けられるような気がする。企業も大変だと思うが、そういう所（能力）なども含めて、試用期間で様子を見て判断してもらいたい。

高齢者の雇用を今後の課題の一つとして考えて欲しい。非正規雇用でより深刻なのは高齢者雇用。雇用創出の施策として、高齢者に配慮した施策を期待する。極端かもしれないが、高齢者雇用率　％を努力義務として助成金を拡大するとか、業種別に高齢者を登録し、求人に対して就職を斡旋する一方で、高齢者のスキルが事業運営でいかに有益であるかをPRする活動を進めてはどうか。高齢者の就職への価値観を調査するのもいいかと思う。

新規卒者を対象にした職業訓練施設等は主に熊本が中心になっているが、地域（県内各地）にも設置して欲しい。県の工業振興施策や労働雇用施策は、熊本市に集中しているので、県内各地にも配慮した施策を実施して欲しい。

昨年、ハローワークを利用しました。毎回、駐車場に入るのも一苦労でした。また、紹介してもらった仕事が、案内では、長期雇用だったのにもかかわらず、一ヶ月のアルバイトの事務処理の仕事だったことに、本当に驚いてしまいました。採用されて、出された通知書が1ヶ月のものであったのでかなり怪しいと思いながら仕事をしていました。初めからわかっていたら、べつの仕事を選んでいたので、一ヶ月無駄足を踏んだと思っています。

また、私が利用した雇用・能力開発機構について意見を述べたいと思います。職業訓練校に3ヶ月通いましたが、かなりのハードスケジュールのため、内容が中途半端で終わったような気がします。パソコンを本気で習うなら、やはり民間の教室か、1年くらいかけてじっくり勉強すべきであると思いました。かなり詰め込んでいるため、訓練生がパニックになってしまったり、途中でやめてしまった人もいました。

農業は、就農者の高齢化により、あちこちの耕作地が荒れている。職を失った人

達をどうにか、就労できるようにできないか。食の安全も言われている。今一度、農業を活性化させる方法を、行政が地域の組織や施設を利用してやればいいのではないかと思う。

私は子、孫、家族には「県外に就職させたい」と回答したが、県内の地場企業は家族経営が多く、閉鎖的なイメージがあり、子どもを就職させたくないというのが正直な気持ちである。自分も県外に就職した経験があり、多くの物を学んだ。よそ者をなかなか受け入れないという熊本の気質があるようだが、実際に県外で多くを学び、経験された知事がリーダーシップを取ると変わるのではないだろうか。熊本に新しい風を吹き込んで欲しい。

解雇される方が多い今日、再就職するにも資格が必要な場合が多く、再就職までに時間を要してしまうことがある。その間の生活の保障が必要だと思う。

厳しい経済・雇用情勢の中、「ワークライフバランス」や「ワークシェアリング」について、県をはじめ、皆が真剣に考える必要があると思っている。

労働雇用施策では、卒業就職前の時点に、就労教育やアドバイスを教育期間中に行うべきと思う。

出産後も働きやすい環境を作って欲しい。小さい子供がいると働きにくい。雇ってもらえない。保育園も待機児童が多く、なかなか入れない。

熊本でも他県と同様に、雇用の創造を更に拡大し、特に若年層を中心に、日々安心して住めるくまもとづくりを実行して欲しい。

せっかく学んでも、なかなか実際に生かせないともったいないので、雇用側が求める技術を身につけられるような職業訓練を行って欲しい。

みんなが働けるくまもとなんて夢のような話。妹も就活中で、未だアルバイトの身。普通高校を出たのでパソコンもできず、何の免許もなく、母は商業高校にやれば良かったと後悔している。兄も県内に職がなく鹿児島に8年いる。帰りたがっているが、働く場所がないので無理。

若者への理解が少ない。特にロスジェネレーション(就職氷河期に就職活動をした現在26~36歳)への理解が少ない。安くアルバイトや派遣で労働させる

ことを問題にしていない。若者が安心して暮らせるようにしてほしい。

職を失った人などを優先して、県の臨時職員を新たに募集したことは評価できる。

新卒者の県内での就職先が依然として少ないので、新卒者の雇用先を充実させて欲しいと思う。派遣社員やアルバイトではなく、正社員の雇用を促進して欲しい。

熊本県の時間当たりの労働賃金をもっとあげるべきだと思う。できれば700円台に。高齢者の働ける会社も増やして欲しいし、介護職員の給料も今一度見直してもらいたいものだ。

今、派遣切りとか深刻なのでどうにかして働き口を斡旋して欲しい・・・皆で協力して支え合いたいと願います。臨時職員採用も派遣切りされた方から優先して欲しい・・・節に労働条件がよくなることを願っています。

熊本の雇用に対する不満について。保守的で男尊女卑の風潮がある。未だに時代錯誤で飲み会が半強制的、お茶くみや掃除は男性が動かないなどの風潮がある。

労働雇用施策としては、まず最低賃金を増やす。働きがいのあるレベルに。また、保育を充実させる。日・祝日や長期休暇に子供を預かってくれる所が少なすぎる。病気時に預ける所も少ない。病時（病後）保育があることはあるが、先にかかりつけ医に紙を書いてもらう...とか面倒すぎる。子供は突然病気になるもの。もっと実情にあったサービスの充実を望む。

その他

商工業と農業との密接な関係の強化はできないものか。

今後のことを考え、持続可能な社会にするには、環境に配慮した社会に構造転換することが大切で必要になる。逆に考えると、これはビッグなビジネスチャンスにもなりえる。そこで自然エネルギーの産業を興す。例としては、太陽光発電、地熱発電、潮力発電、風力発電などの発電産業の誘致、及び研究開発を進める。この財源には、環境税的に県民税の一部を使って良いのではないかと思う。

また、地産地消を進め（フードマイレージ表示の義務化ができればよいと思うが...）、県内の小売店に地域の食を、また工業製品も含めて使って（扱って）もらうような工夫をすべきかと思う。

熊本は、中国や韓国、インドネシア等に近く、農業や先端技術関連に強い環境を持っている。他国とのジョイント商品の開発や研究に力を入れ、国際化にもっと取り組んで欲しい。

商工業振興で大切なことは、やる気、つまり「企業・商店自身の努力」。行政は財政的な問題があり、支援には限界がある。どこまで踏み込める（資金支援など）かだ。商工業の流れは約10年をパターンにどんどん変わっており、その流れにいかに対応できるかが生き残りにつながる。行政はそのような流れを的確に把握し、支援、指導すべきだ。

県には4つの職業訓練施設があることがモニターをして初めて知った。また、子持ちで職に就く場合でも、働きやすい職場の斡旋があればと思う。商工会議所や商工会は、何をやるどころか知っている人は少ないと思う。もっと市民にも分かり易く日頃の活躍や成果等あれば市政便り等で知らせてはどうだろうか。

失業者を県内の林業関係の仕事に就いてもらうようにすれば、雇用の面で少しはいいのではないか。林業は人手不足で、どこの森林組合の現場でも働く人達の手助けを願っている状態。家も森林もあるが、木材を運ぶトラック運転手や人夫、いずれも不足している。

私は五木村に暮らしているのだが、活性化という時に、それを担っていく世代が定着できない現状をととても危惧している。商工業が成り立つ基盤がないからである。県下一の高齢化に、進む過疎化。村民数は減る一方である。労働雇用施策として、都市部での様々な取り組みは勿論評価できるが、この現実を見て欲しい。地域振興には、良い人材、あるいは人財が不可欠である。外部のコンサルタント等では担えない。リーダーシップをとることができる人材を育成していくかが大きな課題である。

具体的なことは思いつかないが、子供がいるので、子供が水や空気がおいしい熊本で安心して就職できるような環境に10～20年後になっていて欲しいと思う。

実家は農家をやっているが、どこも後継者不足である。このままでは農業の高齢化が深刻である。もっと農業の良さを小さい頃から教育の現場で伝えていくことも大切だと思う。

町に活気がない。そのためか商工会にも活気がないように感じる。商工会は地域を盛り上げる役割を担ってもらっているが、若い人が少なくなっていくばかりで、商工会青年部、地域の壮年団等に負担が多く、休みや行事の際に参加を強制され、そのような点でも町（地域）離れが進んでいるのではないかと思う。60歳以上でも元気な方等に積極的に参加できる仕組みを作っていないと、行事全てが担えなくなる。高齢者と呼ぶにはまだ早い60歳代の方を社会参加させていくことにもつながっていくと思うので、その辺りで何か考えて欲しい。そこから活気の戻っていく街へと移行できればと思う。

商工業に関する全ての点（賃金、条件他）で、全国で40位以下の県勢はどうにかならないか。県外に一步出ると活気の面で全然違うのはどうにかならないか。

秋以降の世界的なリストラを見ると、県はおろか日本だけではどうしようもない。これだけ輸出に依存している日本を変える時期が来ているように思う。まじめに納税して就労している人が、物のように扱われ、一番にリストラを受けている。真面目に働いた人が報われる社会であって欲しいと思う。

商工業振興施策と労働雇用施策とは、本来一体的に展開されることによって、その効果が最大限に発揮される。ところが、地域における商工業振興施策は従来どおり地方自治体に、労働雇用施策の大部分は地方労働局と分断されている。現在の仕組みを継続するのであれば、国と都道府県の情報の共有、連携の一層の緊密化を図らないと、迅速な対応が困難ではないかと危惧する。

会社は誰のものかといつも考えさせられています。本来、経営者とそこで働く労働者とは車の両輪として機能すべきであるものが、力関係で言えば、経営者側が強いというのが現状ではないでしょうか。県の施策を推進していかれる過程では、是非ともバランスの取れたものとしていただきたいと願っています。

景気が悪化し、大変危機的な状況ですが、今こそ大きな転換をする必要があると思っています。前々から後継者不足に悩まされている農業・酪農などへの就労者を増やす努力や女性労働の確保（そのための環境整備・保育園などの充実）等、働き方自体を見直せばまだまだ活性化できる余地があると思うのですが。

【ご協力ありがとうございました！】